

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公開番号】特開2002-196644(P2002-196644A)

【公開日】平成14年7月12日 (2002.7.12)

【出願番号】特願2000-394456(P2000-394456)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/10 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 2 6

G 0 3 G 15/01 L

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 21/00 3 1 8

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月20日 (2007.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー画像を担持する像担持体と、  
前記像担持体上に残されたトナーをクリーニングするクリーニング手段及び、回収したトナーをトナー回収容器に搬送するトナー搬送手段を備えるクリーナユニットと、  
 該クリーニング手段により前記像担持体上から回収したトナーを保持する前記トナー回収容器と、  
 前記トナー回収容器にトナーが満タンになったことを検知するセンサと、  
 を有し、  
 該センサは前記クリーナユニットの有無も検出することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記トナー回収容器と前記クリーナユニットとは、前記トナー回収容器の取入口と前記クリーナユニットの排出口とで接続されており、  
前記取入口に配置され、前記トナー回収容器と前記クリーナユニットが接続されていない状態で、回収したトナーが該トナー回収容器外に漏れることを防止するように閉じるシール手段を備え、  
前記センサは、光透過式センサであり、前記シール手段は、閉じている状態で前記センサの光を遮るように構成したことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記クリーニング手段はクリーニングブレードであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 6 】

## 【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明に係る画像形成装置の代表的な構成は、トナー画像を担持する像担持体と、前記像担持体上に残されたトナーをクリーニングするクリーニング手段及び、回収したトナーをトナー回収容器に搬送するトナー搬送手段を備えるクリーナユニットと、該クリーニング手段により前記像担持体上から回収したトナーを保持する前記トナー回収容器と、前記トナー回収容器にトナーが満タンになったことを検知するセンサと、を有し、該センサは前記クリーナユニットの有無も検出することを特徴とする。